

これでも

正直に乗務報告できますか？

みなさん！乗務報告書が気になりませんか

東海労組合員Aさんが車内での状況を正直に乗務報告書に書いたことで、日勤になりました。（概要は「JR東海労ニュース」No1370を見てください）

日勤を指定する前に営業科長とK助役が、Aさんの車内業務の一部を指摘し「あなたの接客態度は最低です。こんな仕事ぶりじゃダメ。日勤です」と一方的に通告しました。

わたしたち東海労は、お客様からの苦情ではなく、乗務報告書を見て日勤を強要する異常な行為に対して抗議し、直ちに日勤を中止するよう幹鉄事に申し入れました。

ところで、特に車掌のみなさん。営業科は最近（だけではありませんが）乗務報告書の内容について「〇〇さん、こんなことまでやってくれてるんだ、良いねエ」などと言われているいませんか？ Aさんとは真逆ですが、あまり、良い感じだとは思っていないのではないのでしょうか。

乗務報告書の目的は正確な乗務内容の報告

ダメ、と言われるだけでなく褒められても、その下心が見えればいやなものです。乗務報告書は、単に「報告」だけが目的ではなく、お客様への更なるサービスや安全の確保と継続が目的なはずです。違いますか？

ダメ出しも、褒め殺しも同じ意味です。どちらも、会社の思うように社員を働かせようということです。当然、私たちは社員・組合員ですから就業規則や労働協約＝労働条件（組合と会社の約束事）に基づいた仕事をしています。

しかし会社は、それだけでは満足しません。就業規則や労働協約以上に、と考えているのです。これが仕事をさせるための社員管理、すなわち労務管理なのです。

**報告書が、自分の首を絞めていませんか？
しっかり職場をみて、変だと言いましょ！**